

改革先導拠点校④ 庄内総合高校

アド	理数	多様
		○

～誰一人取り残さない多様な学びと庄内の産業・文化が育む地域人材の育成～

- 生徒の学習ニーズの多様化や高校の小規模化に伴い、学校における個別対応できる環境整備が急務となっている。
- 安心できる居場所を基盤に、地域社会や大学・産業界と連携と小規模校への遠隔授業配信により「山形県のどこにいても質の高い学びができる」学習環境を構築し、生徒の進路希望の実現と社会的自立の促進を目指す。

人材育成の現状・課題

- 不登校生徒の急増に伴い、定時制や通信制高校への進学が増加しているが、学校において不安を抱える生徒の一時的な居場所や個別対応の支援が不足している。
- 全国に比べ県内高校は小規模化しており、生徒の進路志望や学習ニーズに合わせた多様な科目や習熟度別授業の開設が困難であり、県域での対応が求められている。

具体的な取組内容

【本校における目標】

県内唯一の全日制・定時制・通信制の3課程併設校である本校において、課程の垣根を超えた柔軟な学びを実践するとともに、小規模校と連携した遠隔授業を広域展開することで、**生徒の社会的自立と多様な質の高い学習機会の保障を同時に実現**する。

【教育改革の内容】

- 本校においては、生徒の実態に応じた**4段階の多層的アプローチ**を構築し、全日・定時・通信の全生徒を対象に、不安や孤立感の解消と学習継続を支える伴走支援を行う。
- 本校と小規模校を結ぶ**本県独自の遠隔授業基盤「やまがたTSUMUGIネット」**を構築し、本校が蓄積した指導ノウハウを他校へ展開する。また、小規模校同士も遠隔授業で繋がり、指導ノウハウや教科の専門性を相互に補完し合う。
- さらに、本校に加え内陸部にも配信拠点を整備するとともに、大学や企業等の外部連携機関との接続を図ることで、**「配信型・相互補完型・外部連携型」の多様な授業形態**を実現し、**地域間で教育資源を相互に共有**しながら、本校と小規模校の生徒に対する学習機会の拡充、教科学習の充実及び学びの質の向上を図る。

【施設整備の内容】

学習棟「N-E.X.T.棟」を新設し、個別学習支援ブースや協働学習室、ラーニングスタジオ等の多様な学習空間を備えることで、「個と集団」「リアルとオンライン」を自在に使い分けられる学習環境を整備する。また、県教育センター敷地に**「遠隔授業配信センター」を新設**し、専任教員が本校と小規模校に向けて、数学・英語・情報などの共通教科から専門教科までの幅広い科目の遠隔授業を行える配信環境を整備する。

【他校への普及方策】

指導方法の事例共有、授業ノウハウや指導案のライブラリ化、遠隔授業機器の貸出等

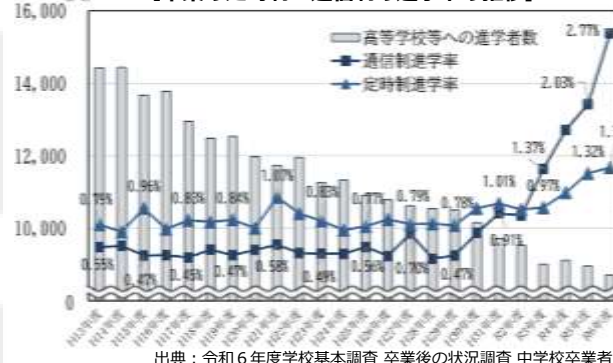
【外部連携の内容】

大学や企業等と連携し、専門分野の授業や探究活動、資格取得支援等を実施する。

協力・連携体制

協力校	小国高校、加茂水産高校、遊佐高校、左沢高校、新庄志誠館高校最上校、新庄神室産業高校金山校・真室川校、荒砥高校、霞城学園高校
主な連携機関等	山形大学教職大学院、山形大学農学部、東北公益文科大学、山形県立産業技術短期大学校、山形県教育センター、庄内町、庄内町商工会、地元企業、通信事業者等

【本県の定時制・通信制の進学率の推移】



出典：令和6年度学校基本調査 卒業後の状況調査 中学校卒業者

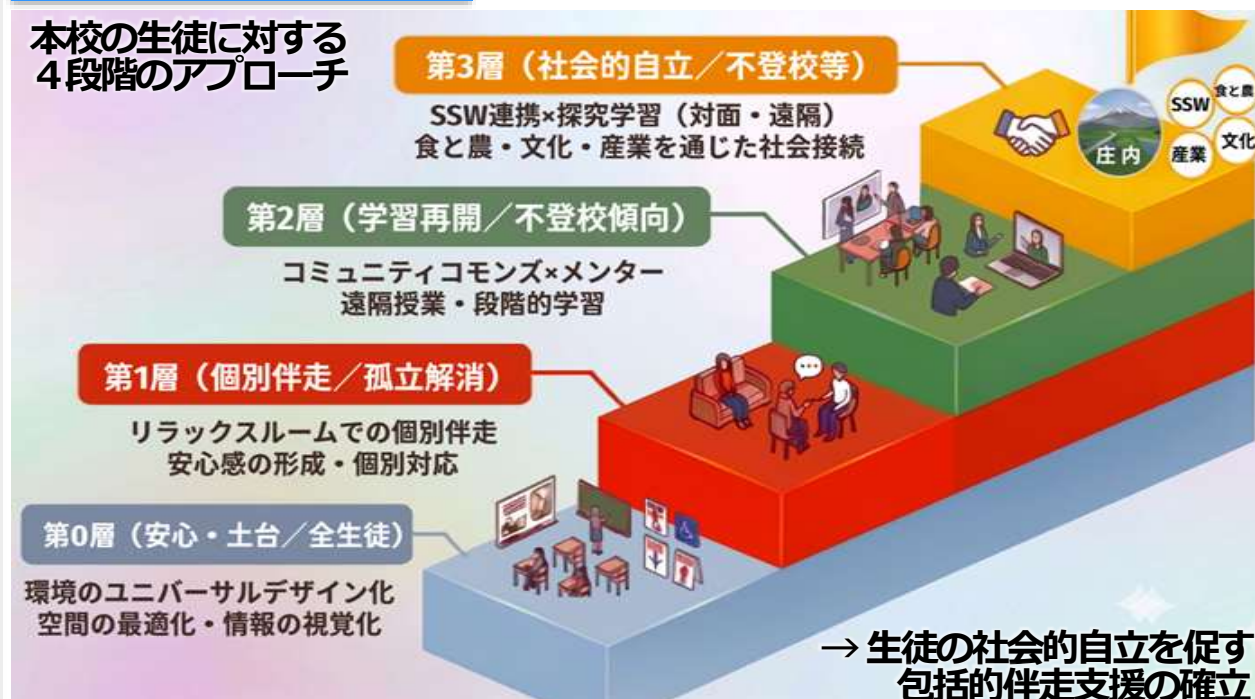
【本県の不登校児童生徒数の推移（小中計）】



出典：令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

改革後のイメージ

本校の生徒に対する4段階のアプローチ



「やまがたTSUMUGIネット」を通じた授業形態

